

北九州

6/15
2012
平成24年 No.1172



環境未来都市
北九州市

市政だより

各種申請手続き、市政について
北九州市コールセンター

☎671-8181 年中無休
8時～21時

夜間・休日の病気やけがについて
テレフォンセンター

☎522-9999

子どもに関する悩みや相談について
24時間子ども相談ホットライン

☎881-4152

消費生活に関する相談について
消費生活センター

☎861-0999

月～土曜日(祝日は除く)の8時30分～
16時45分(第3土曜日は13時まで)

編集・発行 北九州市広報室広報課 〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1 ☎(093) 582-2236 FAX(093) 582-2243

北九州市ホームページ <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>

主な内容

トピックス 「7月9日(月)から外国人に住民票が作成されます」「がん検診の無料受診券を送付」「今年は文豪・森鷗外生誕150周年」など 2
「わくわくイベント大集合!」 3

※最終ページは若松区の情報

【人口】(平成24年5月1日現在)

97万2328人

男 45万6996人/女 51万5332人

世帯数 42万5240世帯

北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」

小倉北区三郎丸三丁目4-1 ☎922-0026 <http://kitakyushu-ssc.jp>

開館時間: 9～21時

※毎週木曜日12～21時と毎週日曜日9～12時は、プール・トレーニングルームなどが障害者専用利用となります。

休館日: 火曜日(祝日のときは開館し翌日が休館)



▶都市高速足立インターより車で約5分
▶モノレール片野駅から徒歩約15分
▶市民球場バス停から徒歩約7分

使用料:(障害のある人と介助者1人は無料)

施設	利用回数	一般	高校生	小・中学生
体育館・卓球室	1人1回(2時間以内)	350円	170円	100円
大・小スタジオ	1人1回(2時間以内)	350円	170円	100円
室内プール	1人1回(2時間以内)	500円	310円	150円
トレーニングルーム	1人1回(2時間以内)	350円		

◆障害者スポーツセンターの教室

いずれも7月から開始。定員は各8～30人。期間・時間など詳細は問い合わせを。申し込みは6月25日までに障害者スポーツセンター(☎922・0026)へ。

教室名	対象者	曜日	時間
トレーニング教室	知的障害者(高校生以上)	毎週日曜日	朝
	視覚障害者(高校生以上)	毎週木曜日	昼
ストレッチ教室	障害者	毎月第1日曜日	昼
		毎月第2日曜日	夜
		毎月第3日曜日	昼
リズム運動教室	障害児者(小学生以上)	毎週土曜日	昼
バランスボール教室	障害児者(小学生以上)	毎週金曜日	夜
親子水泳教室	知的障害児(4歳以上)と保護者	毎週土曜日	朝
初心者水泳教室	知的障害者(18歳以上)	毎週木曜日	夜
	知的障害児(小学生以上)	毎週日曜日	朝
水泳ワンポイントレッスン	障害者(小学生以上)	毎月第1木曜日	夜
		毎月第3日曜日	昼
		毎月第2水曜日	昼
放課後スポーツ教室	知的障害児(小学生以上)	毎月第2水曜日	昼
	身体障害児(小学生以上)	毎月第3水曜日	昼

●若松体育館プール(若松区古前一丁目)

教室名	対象者	曜日	時間
巡回水泳教室(若松)	障害児者(小学生以上)	毎週土曜日	朝

《障害者への情報提供》

福祉サービスや催しを紹介しています。

- 障害者の福祉ガイド** 障害のある人が利用できる制度や福祉サービスを掲載。各区役所「高齢者・障害者相談コーナー」で配布。
- 障害福祉イベント情報「いべんとアラカルト」**(月1回発行) Eメールか郵便(有料)で送付。障害福祉情報センター(戸畑駅前、ウェルとばた、☎882-7721)へ問い合わせを。
- 市政だより** 視覚障害者(身体障害者手帳1・2級程度)に点字版か音声版(デージー版とテキスト版あり)の市政だよりを送付。広報室広報課☎582・2236へ問い合わせを。

新・障害者スポーツセンター「アレアス」は、障害のある人はもちろん、すべての人が安心して利用できるスポーツ施設です。室内プール、トレーニングルーム、視覚障害者の卓球専用室、喫茶コーナーなどが整備され、施設内は完全バリアフリー対応、視覚障害者のために音声案内もあります。また、ほとんどのスタッフが「障害者スポーツ指

スポーツに親しみ、安心して気軽に健康づくり

4月22日、新しい障害者スポーツの拠点「北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」」がオープンしました。障害者スポーツは、障害のある人の社会参加の促進だけでなく、障害のある人に対する理解と関心を深めるなどさまざまな意義を持っています。今回は、アレアスの施設紹介と障害者の社会参加について特集します。

特集 障害者の社会参加

障害のある人となない人がともに楽しめる施設が誕生

「アレアス」のオープンは、これまで障害があることであまり外出しなかつた人たちの、外出のきっかけになることと期待されています。市や社会福祉協議会等では、障害のある人への移動支援サービスなど提供しています。詳しくは、区役所「高齢者・障害者相談コーナー」や社会福祉協議会へお問い合わせください。

活力ある豊かな生活を

本市では、障害の有無にかかわらずお互いの権利を尊重できるまちづくりを進めています。「アレアス」の利用などを通して、障害のある人となない人がともにスポーツや文化活動に親しみ、活力ある豊かな生活を送れる社会を実現しましょう。



▲天候に関係なく一年中利用できる室内プール

《利用者に聞きました》

人と人との出会いと交流



手嶋京子さん(八幡東区)64歳

私は視覚の障害者手帳を持って10年になります。その頃から障害者スポーツに関わるようになりました。もともとスポーツが好きで、水泳のインストラクターをしていたこともあります。「アレアス」では、視覚障害者の卓球『サウンドテーブルテニス』のサークルに入っていて、毎週月曜日に視覚障害者の仲間と練習をしています。アイマスクをつけ、音を聞き分けて行う卓球は難しいですが、とても楽しいです。サークルで、大会にも出場しているんですよ。他にも、太極拳、エアロビクス、水泳をして毎日充実しています。

サークルの仲間には、障害のため外出できないと思い込んでいた人もいました。しかし、スポーツがきっかけで今では一人でもどこへでも出かけられるようになってきました。ここが、そんな人たちの活動の拠点になってほしいです。そして、この施設を通じて、障害のある人となない人がお互い理解しあえたらうれしいですね。



本紙は古紙/リブレを含む再生紙を使用しています。